

生誕 120 年・没後 100 年

関根正二展

SEKINE Shōji: A Retrospective

——大正時代の青年画家、過去最大の回顧展。——

2019 年 11 月 23 日（土・祝）－2020 年 1 月 19 日（日）



永遠の青春。
キャンヴァスに留められた、

今から 100 年前、わずか 20 歳と 2 か月でこの世を去った ひとりの青年画家がいた――。

彼の名前は関根正二（せきね しょうじ）。現在の福島県白河市に生まれ、幼少期に家族とともに東京・深川へ移り住みます。周囲の人たちから影響を受け、画家を志すようになった関根は、16 歳で洋画家としてデビュー。1918（大正 7）年の第 5 回二科展で新人賞にあたる樗牛賞（ちよぎゅうしょう）を《信仰の悲しみ》、《姉弟》、《自画像》の 3 作品により受賞し、「関根のヴァーミリオン」と賞賛された朱色、深い青緑などの鮮やかな色彩と幻想性が溶け合った作品を次々に描きますが、病に冒され、1919（大正 8）年 6 月に急逝します。

関根の画家としての活動期間はわずか 5 年程であり、遺された作品も決して多くはありません。しかし、その画業は日本の近代美術館の成長とともに明らかにされ、また、2003（平成 15）年には出世作《信仰の悲しみ》が国の重要文化財に指定されるなど、大正時代の個性派画家という評価がなされてきました。今回の展覧会は、近年新たに発見された作品・資料を含む、関根の作品約 100 点、書簡や資料約 60 点、関根に影響を与えた同時代の関連作家の作品や資料約 50 点で構成する、過去最大規模の関根正二展となります。



1. 《信仰の悲しみ》1918 年 大原美術館蔵

重要文化財〔展示期間：2019 年 11 月 23 日（土・祝）－12 月 28 日（土）〕

展覧会の見どころ

✓ 100 年ぶりの公開作品や新発見の作品・資料

1919 年 9 月に開かれた関根の遺作展に出品された後、行方不明となっていた作品《少女》が、展覧会準備中に 100 年ぶりに発見されました。このほかにも、作品 5 点と資料(書簡)4 点が新たに発見され、このたび初公開となります。



2. 《少女》1919 年 個人蔵

✓ 国の重要文化財《信仰の悲しみ》を 期間限定で公開

岡山県倉敷市の大原美術館が所蔵する《信仰の悲しみ》。1918 年の第 5 回二科展で樗牛賞を受賞した際の出品作のひとつで、関根正二の評価を決定づけた作品です。2003(平成 15)年には、国の重要文化財に指定されました。この作品を期間限定で公開します。

[展示期間:2019 年 11 月 23 日(土・祝)–12 月 28 日(土)]

✓ 過去最大規模の回顧展が 3 館の共催 により実現

1950 年代以降、日本各地に近代美術を紹介する国・公立美術館が建設され、日本の近代美術の調査研究・作品公開が進められてきました。そうした動きの中で関根正二という画家の存在や作品が掘り起こされ、その蓄積により画業全体を見渡すことができるようになってきました。

三重県立美術館では、開館まもない 1986 年に「関根正二とその時代」展を開催し、以降も継続的にこの画家の調査研究や作品収集を行ってきました。今回は、地元出身作家として関根の調査・作品収集の中心を担ってきた福島県立美術館と、日本で最初の近代美術館として歴史を築いてきた神奈川県立近代美術館との共同作業により、過去最大規模の回顧展が実現しました。



3. 《チューリップ》1918 年 個人蔵

✓ 関根正二を深く知る・味わうためのイベントも開催

会期中には、過去 2 回の関根の回顧展に携わった経験を持つ村田眞宏氏(現・豊田市美術館館長)による講演会や、関根の作品世界を歌と言葉とともに味わう公演(演出:鳴海康平氏[第七劇場])、担当学芸員によるギャラリートークを開催します。さまざまな角度から関根正二の世界に触れるチャンスです。

展覧会概要

2019 年 11 月 23 日(土・祝)－2020 年 1 月 19 日(日)

開館時間:午前 9 時 30 分－午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日:毎週月曜日(1 月 13 日は開館)、2019 年 12 月 29 日(日)－2020 年 1 月 3 日(金)、1 月 14 日(火)

観覧料:一般 900(700)円／学生 700(500)円／高校生以下無料

* ()内は前売および 20 名以上の団体割引料金

* この料金で、「美術館のコレクション」、「柳原義達の芸術」もご覧いただけます。

* 生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。

* 障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方 1 名は観覧無料。

* 県内学校(小・中・高・特支)等が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

* 毎月第 3 日曜の「家庭の日」(12 月 15 日、1 月 19 日)は団体割引料金でご覧いただけます。

* 主な前売券販売所:チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他

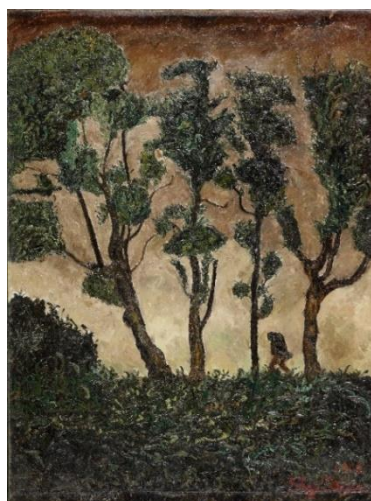
主催:三重県立美術館 中日新聞社

助成:公益財団法人岡田文化財団 公益財団法人三重県立美術館協力会 芸術文化振興基金

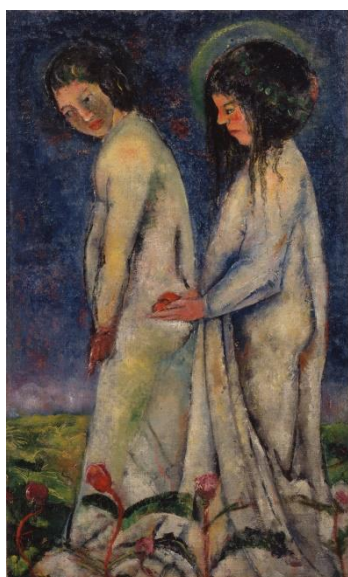
■巡回情報

2019 年 9 月 14 日(土)－11 月 10 日(日) 福島県立美術館

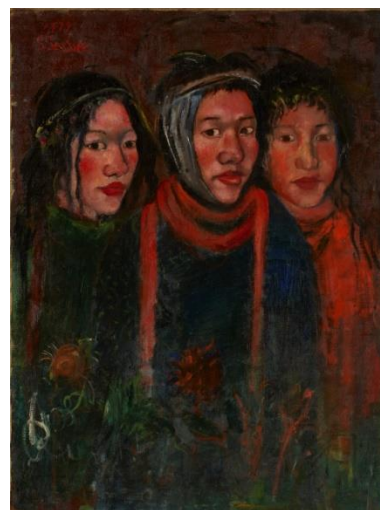
2020 年 2 月 1 日(土)－3 月 22 日(日) 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館



4. 《死を思う日》1915 年
福島県立美術館寄託



5. 《神の祈り》1918 年頃
福島県立美術館蔵



6. 《三星》1918 年
東京国立近代美術館蔵

関連プログラム

1. 講演会「放浪、失恋、そして聖地へ 関根正二の世界」

2019年11月30日(土) 午後2時—午後3時30分頃(開場は午後1時30分)

講師:村田眞宏氏(豊田市美術館館長)

会場:美術館講堂

予約不要／聴講無料／定員150名

2. 公演「関根正二をめぐる言葉と歌」

関根正二の作品世界を歌と言葉とともに味わいます。関根の作品やその世界観を読み解くキーワード「信仰・愛・青春」から導かれたクラシック歌唱と、俳優が朗誦する関根の言葉のコラボレーション公演。

2019年12月10日(火) 午後3時—(約30分)

2020年1月19日(日) 午後3時—(約30分)

*開場は午後2時30分

演出:鳴海康平(第七劇場)

出演:【歌】相可佐代子(12月10日)、佐波真奈己(1月19日)

【朗誦】第七劇場俳優

会場:美術館講堂

観覧料:500円 *当日、現金を会場にてお支払いください。

予約不要／定員150名

3. 担当学芸員によるギャラリートーク

展示室で数点の作品を鑑賞するツアーです。

2019年12月14日(土)、2020年1月12日(日) いずれも午後2時から(約20分)

会場:企画展示室

対象:どなたでも。展示室に入るため、関根正二展の観覧券が必要です。

4. 三重県立美術館友の会主催 お茶会

2019年11月26日(火)—12月1日(日) 午前10時—午後4時

会場:美術館エントランスホール

一服:400円(立礼式／茶菓子付)

FAX. 059-223-0570 三重県立美術館 関根正二展広報担当 宛

広報用画像申請用紙

ファクシミリをご利用の方は、ご希望の画像に☑を入れ、申請者情報を記入し上の宛先にお送りください。申請者情報と画像番号をEメールでお送りいただいても構いません。受付後、JPEG または TIFF の画像データとキャプションのテキストデータをEメールでお送りします。

ご所属／	担当者氏名／
掲載媒体名称／	
電話番号／	メールアドレス

☐ 1.

関根正二《信仰の悲しみ》1918年 大原美術館蔵 重要文化財[展示期間:2019年11月23日(土・祝)－12月28日(土)]

☐ 2.

関根正二《少女》1919年 個人蔵

☐ 3.

関根正二《チューリップ》1918年 個人蔵

☐ 4.

関根正二《死を思う日》1915年 福島県立美術館寄託

☐ 5.

関根正二《神の祈り》1918年頃 福島県立美術館蔵

☐ 6.

関根正二《三星》1919年 東京国立近代美術館蔵

■掲載にあたってのお願い

- ・上記キャプション(作家名、作品名、所蔵先等)を画像と一緒に掲載してください。
- ・作品画像への文字乗せ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を2部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

■お問合せ先

三重県立美術館 学芸普及課 原、田中

TEL. 059-227-2100(代表)／FAX. 059-223-0570

E-mail: haram02@pref.mie.lg.jp (原)／tanaky09@pref.mie.lg.jp(田中)